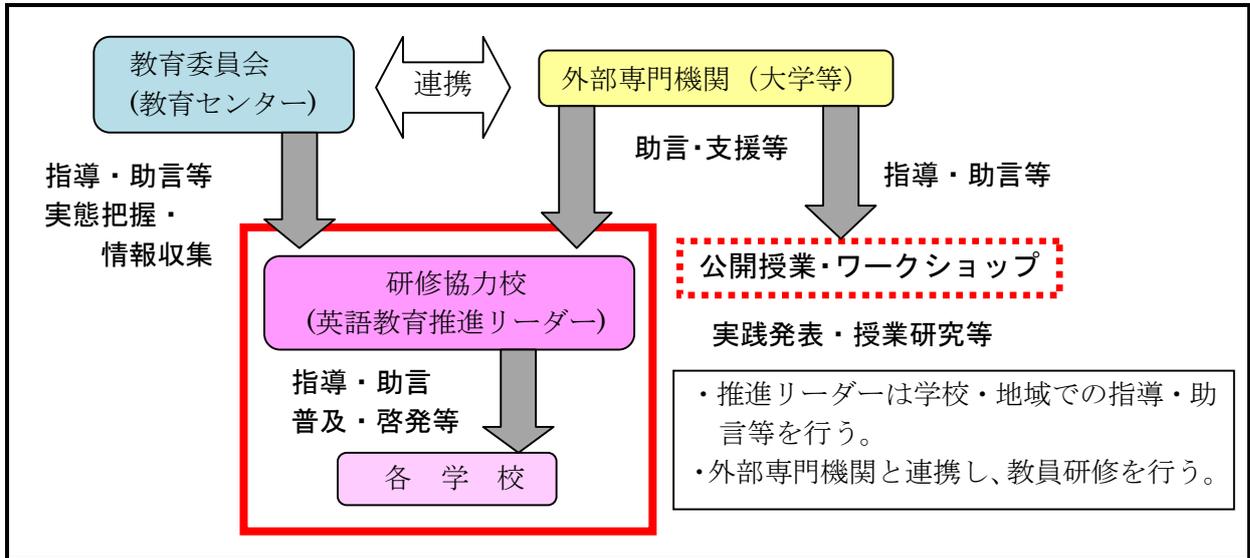


香川県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

本県では、「英語教育実施状況調査」の結果を踏まえ、教員の指導力・英語力向上及び生徒の着実な英語力向上を図るため、以下の目標設定と管理の下で本事業を実施する。

①求められる英語力を有する英語担当教員の割合 ※ () 内は27年度達成値

【H29 目標値】〔中学校〕50% (29.4%) 〔高等学校〕85% (80.8%)

- ・求められる英語力を有する中学校英語教員の割合を5割以上にするため、外部講師や英語教育推進リーダー等による指導力・英語力向上研修を計画・実施する。また、成果や今後の目標を把握するために外部検定試験を実施する。
- ・英語教員や管理職を対象とした研修等の機会に、外部検定試験による資格取得について周知を図り、受験についての理解を得る。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、学校訪問等の際に外部検定試験の受験を促す。

②求められる英語力を有する生徒の割合

【H29 目標値】〔中学校〕50% (31.9%) 〔高等学校〕50% (30.4%)

- ・4技能をバランスよく指導し、統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するために、英語教育推進リーダーによるモデル授業や参加者による模擬授業等の実践的な研修を行い、更なる授業改善を図る。また、生徒に身に付けさせたい力を明確にし、言語活動を充実させるなど、研修実習の内容を具体化した公開授業や研究協議、ワークショップを研修協力校において計画・実施する。
- ・中学校では、県で実施している学習状況調査の結果等を分析し、成果や課題、改善策等を各校の英語担当教員に周知し、文法指導と言語活動を一体的に行う指導について具体を挙げて指導・助言する。
- ・ALT等の効果的な活用を促すなど、授業の中で生徒が英語を使う機会を多く設け、実際に英語を使いながら、コミュニケーションのツールとして英語を使う力を育成する。
- ・高等学校では、NECマネジメントパートナー等と協力し、県指定アクティブ・ラーニング推進校生徒のリスニング・スピーキング技能の測定 (OPIc による英語試験) を行い、経年変

化データ取得する。その過程で生徒自身の英語レベルを認知させ、自発的学習に向かうよう促す。

- ・高等学校では、ALT活用周知を英語科主任に行う際に、ALTによる英語集中講座や生徒による英語ガイド事業について紹介し、ALTのより効果的な活用を促す。

③「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

【H29 目標値】〔中学校〕設定 100%(33.8%) 公表 60% (5.9%) 把握 70%(14.7%)

〔高等学校〕設定 100%(100%) 公表 60%(22.0%) 把握 70%(44.0%)

- ・「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標の整備がまだ不十分なので、県教委と市町教委が連携し、研修や連絡協議会、学校訪問等の際に、その意義や効果的な活用について指導・助言等を行い、各校での確かな活用を図る。
- ・「CAN-DO リスト」の活用状況を把握し、学習到達目標に基づいた指導・評価改善の促進・充実を図るために、研修を計画・実施する。
- ・研修協力校においてモデル授業を公開し、「CAN-DO リスト」の活用を通じてどのように指導方法を改善していくのか、何をねらいにした授業づくりをしていくのか、具体的に示して普及を図る。

④生徒の授業における英語による言語活動時間の割合

【H29 目標値】〔中学校〕65%(62.5%) 〔高等学校〕75%(41.0%)

- ・英語教育推進リーダーによる研修実習等を通じて、英語を用いた言語活動が中心となった授業の在り方や、その有効性について理解を深めるとともに、指導技術を習得させる。研修実習に参加した教員は、校内研修等の機会に研修の成果を普及する。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、学校訪問等の際に、生徒の英語による言語活動が中心の指導方法等について指導・助言する。

⑤パフォーマンステストの実施状況

【H29 目標値】スピーキングテスト〔中学校〕5回(3回) 〔高等学校〕科目によって数値が異なる
ライティングテスト〔中学校〕5回(2回)

- ・外部講師や英語教育推進リーダーによる研修等を通じて、言語活動の評価の在り方について理解を深めるとともに、パフォーマンステストの効果的な実施や評価について協議するなどして、一層の充実を図る。
- ・「話す力」と「聞く力」を確実に身に付けさせるために、計画的・系統的な指導や評価を行うよう助言する。

⑥英語担当教員の授業における英語使用状況

【H29 目標値】〔中学校〕80%(78.7%) 〔高等学校〕85%(43.9%)

- ・英語教育推進リーダーによる研修実習等を通じて、生徒が英語に触れる機会を充実させる授業の在り方や、その有効性について理解を深めるとともに、指導力の向上を図る。研修実習に参加した教員は、校内研修等の機会に研修の成果を普及する。
- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、学校訪問等の際に、教師による発話だけでなく、生徒とのインタラクションを図りながら言語活動を展開する指導方法等を指導・助言する。
- ・指導力向上研修に英語教育推進リーダー等によるモデル授業や参加者の模擬授業等を取り入れ、英語で行う授業を体験する中で、指導する際の留意点や効果についての理解を深める。

⑦相応の英語力を有する小学校教員の割合

【H29 目標値】〔小学校〕設定しない

- ・英語教育推進リーダーによる研修実習等を通じて、できるだけ多くの英語を使った指導技術を習得させる。研修実習を参加した中核教員は、校内研修や公開授業等を積極的に行い、研修の成果を普及する。
- ・管理職を対象とした研修等の機会に、英語力向上を図る研修への参加や校内研修の実施について理解を得る。
- ・研修や学校訪問等の際に外部検定試験について周知し、受験を促す。

⑧英語担当教員に対する研修実施回数

【H29 目標値】〔小学校〕 6回 220人(4回 192人) 〔中学校〕 6回 220人(5回 205人)
〔高等学校〕 3回 80人(2回 29人)

- ・小学校における教科化に向けた外国語活動の指導改善、中学校における4技能をバランスよく育成する外国語の指導改善を図るために、公開授業及び研究協議、ワークショップ等を研修協力校において計画・実施する。
- ・外部専門機関と連携し、指導力と英語力の向上をねらいとした講座形式の研修を計画・実施する。
- ・学校における指導体制を充実させるために、英語教育推進リーダーが地域の指導的立場にある教員に対して研修を計画・実施する。
- ・研修協力校における成果等を普及するために、研修資料を作成し、その活用を促す。

(3) 研修の体系と内容の具体

教員の指導力・英語力向上に向けて、以下の研修を実施する。各研修後にアンケート調査を実施しその結果を検証するとともに、成果と課題を次年度以降の研修に反映させる。

1 外国語活動・英語 指導力・英語力向上研修（各校種50名程度）

小学校から中核的な教員、中・高等学校から英語担当教員を集め、前年度10日間の中央研修を受けた「英語教育推進リーダー」を講師とした3日間の研修会を県教育センターで開催する。この研修会を継続することで、新学習指導要領の全面实施となる平成32年度までには、県内すべての小学校に、本研修を受講した中核教員が配置されるよう計画する。

本研修を受講した教員は、各学校で校内の教員に向けて研修内容を伝達する。国から配布されたDVD等も活用しながら、各学校で計画的に進める。

2 英語指導力向上研修（100名参加予定）

新たな英語教育の在り方についての理解を深め、小・中・高等学校の円滑な接続等について学ぶことで、教員の指導力の向上を図る。十分な協議の時間を設け、小・中・高等学校の相互理解を図る。

3 英語教育推進リーダーによる公開授業及び授業研究（200名参加予定）

小・中学校の中央研修受講者が公開授業を実施し、その成果を県内に普及する。授業後は、大学教授等を講師に招き、指導力・英語力向上に向けて具体的な指導助言をいただく。また、若年教員には公開授業、研究協議等の参加を義務付けているので、本県が作成している「さぬきに授業 基礎・基本～子どもに学びのときめきを～」(各教科の指導に共通する授業の基礎的・基本的な指導技術についての解説書)を活用しながら協議することで、優れた実践を伝承していく機会とする。

4 教育課程運営改善連絡協議会（120名参加予定）

3年のうちの悉皆である本協議会では、指導方法の工夫改善や評価に関する研究協議等を行い、教育課程の確実な実施に資する。国や県の施策について理解を深めたり、公表されている資料等の活用を促したりする。また、中央研修受講者によるワークショップを行い、外国語の授業について、体験を通して理解を深める。

5 外国語指導助手等指導力向上研修（35名参加予定）

A L Tとの模擬授業やワークショップを通して、効果的なティームティーチングの在り方と実践、外国語教育をめぐる諸問題について研修する。A L Tとの演習（模擬授業の実践を含む）や研究協議も行う。

6 先進小学校研究実践普及啓発事業

直島町立直島小学校など英語教育について先進的な取組をしている県内小学校の研究成果等を映像資料等にして普及啓発を図る。

7 研修サポート事業

要請により、県下の学校の校内研修や授業研究に指導主事等を派遣する。教材研究や指導案作成等についても指導・助言する。

8 英語授業スキルアップ講座

中学校英語担当教員を対象に、「CAN-DO リストを活用した授業改善「パフォーマンステストの効果的な実践」等のテーマで英語教育の活性化を図り、教員の授業力・指導力向上につながる講座を開催する。円滑な小中高連携を図る目的で、小学校教員、高等学校教員の参加も募る。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	第1回運営委員会	
5月	第1回小学校外国語活動指導力・英語力向上研修 第1回中学校英語指導力・英語力向上研修 第1回英語指導力向上研修	英語教育推進リーダー 関西外国語大学
6月	第2回運営委員会 第1回高等学校英語指導力・英語力向上研修	
7月	第2回小学校外国語活動指導力・英語力向上研修 第2回中学校英語指導力・英語力向上研修	英語教育推進リーダー
8月	第3回運営委員会 第3回小学校外国語活動指導力・英語力向上研修 第3回中学校英語指導力・英語力向上研修 第2回高等学校英語指導力・英語力向上研修 第2回英語指導力向上研修 教育課程運営連絡協議会	英語教育推進リーダー
9月	第1回公開授業及びワークショップ（小学校）	香川大学
10月	第2回公開授業及びワークショップ（小学校） 第3回高等学校英語指導力・英語力向上研修 外部検定試験	香川大学 英語教育推進リーダー
11月	第3回公開授業及びワークショップ（中学校） 第4回公開授業及びワークショップ（中学校）	広島大学 関西外国語大学

12月		
1月	第5回公開授業及びワークショップ（小学校） 外部検定試験	香川大学
2月	A L T等指導力向上研修 第4回運営委員会	国際交流協会等
3月		
【その他の取組】 「Sanuki English News」の発行〔小学校外国語活動先進校の取組等を紹介〕		

